

福祉と戦争は両立しない！

福祉保育労東京地本は「戦争法案」に強く反対します



第2次世界大戦の終戦から今年で70年になります。

いまや戦争の悲惨さを体験した世代は少数になり、私たち組合員もほぼ全員が戦後生まれです。都職員も福祉施設の経営者も、都議会議員の方も戦争を経験していない世代に交代しています。

戦争は人間からいのちと尊厳と財産を奪います。そして戦争が残すものは愛する人を失った悲しみであり、生涯消えない心身の傷であり、貧困です。アメリカに見られるように、貧困にあえぐ若者が生活のために軍隊に入り戦地に行き、その後、自ら命を絶ったりトラウマを抱えながら生活する状況もあります。

かつて東京は空襲によりたくさんの罪もない人が殺され（東京大空襲では10万人が命を失いました）、結果多くの戦災孤児を生み出しました。また戦時下の貧困や空襲、戦地での傷病で障害や重い病気を負い、自立して生きていくことが困難な人をたくさんつくりました。

さらに戦争が終わって焼け野原となった東京には復興・発展させていくため、貧しいなかで小さな子どもをかかえながら汗水たらして働く労働者がたくさん集まってきました。

全国福祉保育労働組合東京地方本部

〒111-0051 台東区蔵前4-6-8 サニープレイス5階

Tel 03-5687-2967 fax 03-5687-2967

<http://www.fukuho-tokyo.jp>

戦争が残した貧困や困難を、私たちの大先輩である福祉関係者がある時は私財を投げうってまでも、児童養護施設、障害者施設、保育園をつくり障害者や子ども、身寄りのない高齢者を守りました。

朝鮮戦争が勃発し、再び日本が戦争の危機を迎えたときには、「大砲とバターは両立しない」と声をあげました。

国会では「戦争法案」とも呼ばれている安全保障関連法案の審議が行われています。

私たち福祉労働者はいのちと人権を守り、権利侵害や貧困を社会からなくすことを使命として働いています。日本がふたたび戦争する国になることに反対します。「平和こそ最大の福祉」だからです。

労働組合は平和の礎（いしずえ）です。

国際労働機関（ILO）は、憲章の前文で「労働者が人間らしく働き続けられない世の中では、平和を維持することはできない」ことを高らかに宣言しています。労働組合がすすめている運動はすべて、世界の平和を希求することにつながっています。

もはや最低賃金ストレスレ!

上がらない介護職場の賃金!!



国は介護労働者の処遇改善加算を増やしたというものの、総額では介護報酬を減らしました。また国（財務省）は「3年後の報酬改定でも再び引き下げる」と実態を無視した発言をしています。そのため介護労働者の賃金は大幅賃上げどころか、昇給額の抑制や一時金の大幅減額、最低時給の据え置きなどの処遇改善とは真逆の提案に直面しています。

下の表は東京都の最低賃金額です。この10年で25%近くの底上げがなされています。しかし介護事業所の報酬は下がり続けているため、都内の介護事業所の多くで、時給900円前後で募集を図っています。その結果「募集しても人が来ない」「来ててもすぐ退職してしまう」実態は一向に解消されません。東京都として少なくとも時給1000円以上を実現できる施策を実現してください。

賃金あげて
欠員なくして!



	東京都最低賃金額	
2014年	888円	+178円
2012年	850円	+140円
2010年	821円	+111円
2008年	766円	+56円
2006年	719円	+9円
2004年	710円	

違法労働・脱法労働が横行!労働条件の抜本的改善を

介護にとどまらず、保育園でも賃金の引き下げが止まりません。

そのうえ労働基準法の違反や違法ではないが人間的な労働といえない『脱法労働』の実態が横行しています（下表：例示）。相談者は必ずといっていいほど労働相談に来る前に労働局や東京都や自治体などに相談をしています。しかし理不尽にも『労働基準法違反とは言えない』『証拠を出してほしい』（労基署）『労使関係には介入しない』（都庁・自治体）など親身に対応してくれないと話しています。そのため組合にたどり着いた時には病気で退職せざるをえない状況の人がたくさんいます。

定着支援どころか人間を壊す実態をみすみす見逃す行政には強い憤りを覚えます。都として福祉労働者の賃金・労働条件の監督を強化してください。また、相談が寄せられたら、福祉保育労につないでください。

この間の労働相談から・・・

- ・16時間連続夜勤が月9回以上入っている。理由は職員が確保できないから。（特養ホーム）
- ・多い時には週に3日宿直する。宿直時間すべて寝られるわけではない。そのうえ、宿直が終わった後も学校などに子どもの様子を見に行ったりすることがある（児童養護施設）
- ・休憩がとれない。幼児といっしょに給食をとっているのが休憩だと言われる（保育園）
- ・朝5時から出勤しても、人員不足で朝食が間に合わない。事務長には理不尽に怒られる。2年近くまともに職員を揃えられたこともないのに。時給900円では職員は来ない。（特養ホーム）